

KINKON

2025 夏
vol.23

ZERO
CO₂
2050™



北越コーポレーション

KINKONは、当社工場の地名の頭文字を組み合わせ、お客様を訪問する際のチャイム音「キンコン」をイメージした、当社の環境活動通信誌です。

サステナブルな社会を目指す北越グループ

豊かな美しい地球を次世代に引き継ぐためにサステナブルな社会を築いていくことが求められています。北越グループは、自然環境に与える影響を最小限にする「ミニマム・インパクト」の考えを全ての事業活動に展開し、人と自然が共生する豊かな未来づくりに貢献します。

本誌ではサステナブルな社会の構築に繋がる北越グループの活動について、CDPの3分野「フォレスト」「気候変動」「水セキュリティ」に沿って紹介します。

「CDP2024」でリーダーシップレベルを獲得しました！

CDPは、世界主要企業と都市の環境活動に関する情報を収集・分析・評価し、これらの結果を機関投資家向けに開示する国際NGOです。CDPの評価分野は、「フォレスト」「気候変動」「水セキュリティ」です。当社は、CDP2024の3分野で最上位のリーダーシップレベルを獲得しました。

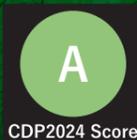
<CDPが目される背景>

世界的に環境問題への対応が重要性を増しています。CDPを通じて開示される各企業の非財務情報は金融機関、株主、投資家などの意思決定等に活用されます。



フォレスト

Forests



合法性・持続可能性の証明が確立された森林から産出した木材原料を調達しています。また、当社が保有・管理する森林は、生物多様性に配慮した森林施業を実施しています。

合法性・持続可能性の確認

トレーサビリティレポートの入手や当社社員による現地確認等により、サプライチェーン全体で違法伐採や人権侵害のない公正な木材原料の調達が行われていることを確認しています。加えて第三者による監査も実施しています。



木材原料の調達に関する取り組み



生物多様性の保全

猛禽類が生息する社有林では繁殖期間は作業を中断、特別天然記念物が生息する社有林では生息流域を禁伐区として保護し、生物多様性の保全に努めています。岩手県の外川社有林は環境省の「自然共生サイト」に認定されており、サイトの面積規模(1,833ha)は国内有数を誇ります。



気候変動

Climate Change



人と自然が共生する社会の実現を目指し、CO₂排出量を2030年までに45万t削減し、2050年までに実質排出量ゼロに挑戦します。

環境負荷低減への取組

1995年に天然ガス自家発電設備を関東工場(市川)に導入以降、500億円を上回る環境投資を行い、各工場で燃料転換や再生可能エネルギーの活用などCO₂削減への取り組みを推進しています。



気候変動問題への対応



輸送時のCO₂削減

原材料の輸送では、チップ専用船の低燃費化を推進しています。また、製品輸送では、トラックから鉄道へのモーダルシフトを推進し輸送時のCO₂排出量を削減しています。



新たな挑戦

太陽光発電やバイオマス発電などの再生可能電力を市場に供給しています。加えて、新潟工場では、CO₂の分離回収技術の実装に向けた検討に着手しています。



小型CO₂分離回収装置 (CO₂MPACT™モバイル、三菱重工業株)

水セキュリティ

Water Security



各拠点における排水に関連する環境法令を遵守すると共に、水使用量の削減を進め、河川及び海洋の環境保全に努めています。

水リスクの分析・評価

TCFD・TNFDの枠組みに沿って、原料調達から生産までの活動地域について、水不足等のリスクを分析・評価し、開示しています。



TCFD提言に基づく情報開示



TNFD提言に基づく情報開示



節水の取組

積極的に節水対策に取り組んでおり、限外濾過膜装置等の高性能な水処理装置を導入し、水を再生利用しています。



限外濾過膜装置(新潟工場)

安全な飲み水の提供

安心安全な飲料水を精製するために使用されている逆浸透膜(RO膜)の支持体に当社の湿式不織布が使用されています。



RO膜モジュール

FOCUS

- CDP2024回答企業数
世界:24,800社以上(世界時価総額66%以上)
日本:2,100社以上(プライム市場上場企業の70%以上を含む)
- Aスコア獲得は評価対象企業のわずか2%

[CDPスコアの意味]

A A-	リーダーシップレベル	環境課題の管理にベストプラクティスを行っている
B B-	マネジメントレベル	環境リスク等に対し、リスクをなくそうとしている
C C-	認識レベル	環境問題に関する認識を深めている段階
D D-	情報開示レベル	回答しているが努力が未成熟

異業種ラウンドマッチング輸送を開始

北越コーポレーション(株)、ダイハツ工業(株)、日本通運(株)、日本貨物鉄道(株)は、当社が運用する20フィートコンテナ(長さ約6m)を活用し、環境負荷低減と安定した輸送能力の確保を目的に異業種ラウンドマッチング輸送(*)を2025年2月から開始しました。

当社が新潟工場で生産した製品を関西地方へ輸送し、復路のコンテナを活用してダイハツ工業(株)の小型自動車を新潟地区へ輸送します。異業種である2社が物流面で連携を図ることにより、将来に続く持続可能な輸送モードの確保ならびに物流効率化にも貢献できます。

*貨物を目的地で下ろした後、空コンテナで回送することなく適合する貨物を積み、出発地まで戻ることにより、往路と復路のコンテナ積載率を高め、環境負荷低減とコストの低減を可能にする輸送方式。



富士市CNFブランドに バルカナイズドファイバーが認定

北越東洋ファイバー(株)の「バルカナイズドファイバー」が富士市CNF(セルロースナノファイバー)ブランドに認定され、2025年2月4日に小長井市長より認定証を授与されました。

このブランドはCNFまたはCNF関連技術を利用し、生産、製造、加工された製品が対象です。バルカナイズドファイバーはオールセルロース材料かつ、世界で一番歴史のあるCNF製品という特長が評価されました。



授与式(左:金川社長(北越東洋ファイバー(株)),右:小長井市長)



北越東洋ファイバー(株)

バルカナイズドファイバー製ランプシェードと
ネームプレート



茨城県次世代エネルギーパークHPに 関東工場(勝田)の紹介動画が公開

関東工場(勝田)は茨城県次世代エネルギーパークが進める施設紹介の動画制作に協力しました。次世代エネルギーパークとは、県内で再生可能エネルギーについて先進的な取り組みを進める企業や研究機関の集まりです。17の施設が選ばれており、関東工場(勝田)もその一つです。バイオマス発電設備や太陽光発電施設、抄紙設備を中心とした内容で3分弱の動画が同パークHPで公開されています。ぜひご覧ください。



撮影の様子

茨城県次世代エネルギーパーク推進協議会



編集後記

本誌では気候変動対策、水と森林資源の維持に関する代表的な取り組みをご紹介しました。掲載した他にも様々な活動を行っています。ぜひ紙面リンクより当社HPをご覧ください。また、当社は環境活動だけでなくサステナビリティ活動全般にも力を入れて取り組んでいます。新たに「サステナビリティ推進本部」を設立し、サステナビリティ活動をより一層推進する体制を整えました。今後もサステナブルな社会を目指して活動を進めてまいります。

この通信誌の用紙にはミューマツト-F 157g/m²を使用しております。

KINKON vol.23

2025年7月発行

[発行]

北越コーポレーション株式会社

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-2

TEL(代):03-3245-4500 FAX:03-3245-4511

https://www.hokuetsucorp.com

ZERO
CO₂
2050™

